

令和7年度 第75回札幌支部高等学校柔道大会 要項

兼 第75回北海道高等学校柔道大会札幌支部予選会

- 1 主催 北海道高等学校体育連盟札幌支部 札幌柔道連盟
2 当番校 市立札幌藻岩高等学校
3 会場 千歳市開基記念総合武道館
千歳市あずさ1丁目3-1 TEL 0123-22-2100
4 期 日

令和7年5月21日(水)

- 9:00 開場
9:10 会場設営(参加者全員)
10:00 女子体重計量(10:30まで)
10:40 顧問・審判打合せ
11:00 開会式
11:20 女子団体試合
男子団体試合 予選リーグ
17:00 1日目終了予定

5月22日(木)

- 9:00 開場
9:20 男子体重計量(9:50まで)
10:00 審判打合せ
10:20 男子団体試合 決勝トーナメント
女子個人試合
16:30 男子団体・女子団体 表彰式
17:00 2日目終了予定

5月23日(金)

- 9:00 開場
10:00 審判打合せ
10:10 男子個人試合
16:00 男子個人・女子個人 表彰及び閉会式
16:30 会場撤去(参加者全員)

5 参加資格

- (1) 北海道高等学校体育連盟に加入している高等学校の生徒であること。
- (2) 令和7年度全日本柔道連盟・札幌柔道連盟に登録している生徒であること。
- (3) 平成18年4月2日以降に生まれた者。(令和7年4月2日現在で19歳未満の者。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。)
- (4) 転校後6ヶ月未満(全道大会を起算)の者は参加を認めない。但し、一家転住などの止むを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。尚、外国人留学生もこれに準じることとする。
- (5) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長が支障ないと判断した者。
- (6) 北海道高等学校体育連盟の主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または、加入意志のある者。
- (7) 引率責任者は、当該学校の教員。監督は当該学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。また、公認柔道指導者資格取得者以外の教員は、『学校顧問特例資格審査申請書』を提出すること。
- (8) 高等専門学校・専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。大会開催に要する経費については応分の負担をすること。(応分の負担として、エントリー1名500円の参加料を納入する。)

(9) 脳震盪対応について

選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(10) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

6 チーム編成

(1) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(2) 団体試合 ア 男子は、監督1名・マネージャー1名・選手5名・補欠1名の合計8名をもって編成する。但し、選手は3名から5名でもよい。なお、3名もしくは4名の場合は、後ろ詰め(先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける)とする。

イ 女子は、監督1名・マネージャー1名・選手3名・補欠1名の合計6名をもって編成する。但し、選手は2名でも良い。なお、2名の場合は、後ろ詰め(先鋒を空ける)とする。

(3) 個人試合

男子個人：60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級の7階級とし、1校からの参加は17名以内とする。同一階級の参加枠を設けない。

女子個人：48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級の7階級とし、1校からの参加枠を設けない。(参加者が少ない階級は専門部会で検討し、2階級以上を併せて実施する場合がある)

7 支部代表

全道大会への出場は、男子団体8校。男子個人60kg級・66kg級・73kg級は20名、81kg級・90kg級は16名、100kg級・100kg超級は10名。

女子においては試合経験があり、力量を有する者。但し、支部大会に出場しなかった者は原則として全道大会の参加を認めない。

8 抽選組合せ

令和7年5月13日(火)顧問会議の席上で抽選を行い、組み合わせを決定する。抽選にあたっては、本年度の春季大会など過去の大会結果を参考の上、シード選手を決定する。

9 競技規則

(1) 試合は、「国際柔道連盟試合審判規定」(2025-2028)による。

(2) 試合時間は4分とする。延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。

(3) 優勢勝ちの判定基準

ア 団体試合

① 団体試合は「有効」、または「僅差(指導差2)」以上とする。チームの内容が同等の場合は、その対戦に出場した選手の中から代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

② 代表戦の判定基準は、「有効」または「僅差(指導差2)」以上とし、両試合者に得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

③ 代表戦の延長戦(ゴールデンスコア)の判定基準は、「有効」以上または「指導」の差により勝敗を決する。

イ 個人試合

① 個人試合は「有効」、または「僅差(指導差2)」以上とする。技による評価が同等および指導差1以内の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

- ② 延長戦（ゴールデンスコア）の判定基準は、「有効」以上または「指導」の差により勝敗を決する。
- (4) 団体試合の代表戦及び個人試合において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

10 競技方法

(1) 団体試合

- ア 男子参加校を3校程度ごとのブロックに分けリーグ戦を行い、各ブロック1・2位校による決勝トーナメントにより順位を決定する。
- イ 女子は3校程度ごとのブロックに分けリーグ戦を行い、上位校による決勝リーグまたは決勝トーナメントを行う。
- ウ 「技の内容」と「指導」の重み
【一本勝ち = 反則勝ち > 技あり > 有効 > 僅差】の順とする。
- エ 各チーム間の試合は点取り試合とする。勝敗の決定は次による。
- Ⅰ 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- Ⅱ Ⅰで同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
- Ⅲ Ⅱで同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
- Ⅳ Ⅲで同等の場合は「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
- Ⅴ Ⅳで同等の場合は代表戦を行う。（競技規則（3）ア参照）
- オ 全ての試合において、同点同内容の場合は代表戦を行う。

(2) 個人試合

- ア 体重別トーナメント法により行う。
- イ 体重計量、女子は5月21日（水）10：00～10：30、男子は5月22日（木）9：20～9：50の間に行い、計量にパスしなかった選手の出場は認めない。

11 参加申込み

- (1) 札幌高体連柔道専門部 HP よりダウンロードした参加申込書に必要事項を入力し、次の㊷・㊸の要領で送付する。
- ア 作成した申込データをメールに添付して、5月8日（水）締切で大会事務局へ送信すること。
件名・ファイル名を「〇〇高校札幌支部柔道申込」とすること。
- イ アで作成した申込書を印刷し学校長印押印後、**「申込書」と階級毎に裁断した「男女単票」**を大会事務局に 5月9日（金） 必着で郵送すること。
- ※締切日以降の申込みは原則として受け付けない。

(2) 申込先

〒005-0803 札幌市南区川沿3条2丁目1番1号 市立札幌藻岩高等学校 札幌支部高等学校柔道大会事務局 宛 TEL 011-571-7811 FAX 011-571-7814 MAIL daisuke.hara@sapporo-c.ed.jp

- (3) 参加料 **選手1名につき500円**を監督会議当日、当番校に納入のこと。

1.2 参加上の注意

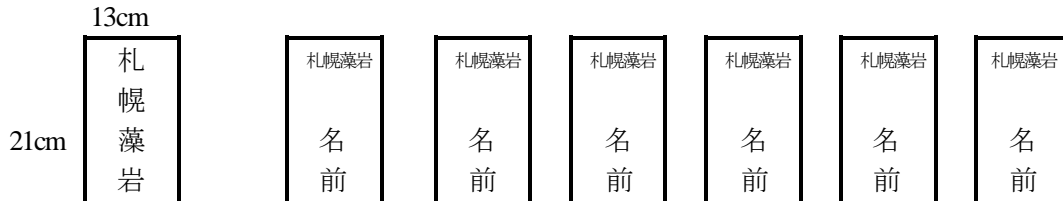
団体参加校は、規定のカード（各校で用意）に校名、選手名を書いて大会当日持参してください。

[カードは対戦表の掲示に使用します。] ※申込シートへの入力で作成できます。

【カードの作成・提出について】

- ① 上質用紙をA4サイズで横に半分（縦21cm・横13cm）に切り、登録者枚数分（選手変更含む）用意する。
- ② 下記要領で校名・選手名（姓）を書き入れる。
- ③ 作成したカードは学校名入りの封筒に入れ、受付に提出する。

【カードの記入例】 右上隅に校名がわかるように押印する。



1.3 その他

- (1) 大会前、大会終了後、会場の設営及び撤去作業を行いますので協力をお願いします。
- (2) 未登録者及び新1年生については支部大会までに登録手続きをとることで参加を認める。
- (3) 必ずゼッケン（所定の様式）の付いた柔道衣を着用する。
- (4) 会場の使用についてはマナーを守り、破損したり汚したりしないよう各校で充分注意すること。
- (5) 女子のTシャツは、色は白、半袖丸首であること。製造業者マークは、最大20cmのサイズであれば認められる。柔道着を着用した際に、製造者マークが見えてはならない。
- (6) スパッツは膝上までとする。
- (7) 靴袋の持参をお願いします。
- (8) 武道館敷地内での喫煙は禁止されております。顧問の先生や観戦に来られる保護者や関係者の方への連絡と協力をお願いします。

専門部会

期 日：令和7年5月13日（火） 9時30分～

場 所：市立札幌藻岩高等学校 1F 会議室

議 題：(1) 高体連柔道大会の運営について
(2) シード校、シード選手について
(3) 審判規定について
(4) その他

顧問会議

期 日：令和7年5月13日（火） 13時00分～

場 所：市立札幌藻岩高等学校 1F 会議室

議 題：(1) 高体連柔道大会の運営について
(2) 組合せ抽選
(3) 審判規定について
(4) その他